

1. 二つの振子運動の合成圖を描くこと。
2. クラドニー氏の砂圖を作ること。
3. 音叉の振動圖を作ること。
4. メルデ氏の實驗。
5. 氣柱の共鳴。
6. 不思議の蓄音機。
7. クンド氏の實驗。
8. アネロイドバロメーターの檢定。

行啓の日も略々定まりたる頃森川の寄宿にバラチフス患者出て同寄宿生一同外出を禁止せられたるより理科三年は通學生の外全部行啓當日まで登校することを得ざりしも實驗装置は豫め物理實驗室に準備し置きて先づ無事なるを得たり。

實驗臺は戸口に向ひてU字形に置き中央のものを使用せざりき。豫ての當局者の豫想と異なり一々玉歩を實驗装置の前へ進められ暫く御立留りあり。

教官は皇后宮大夫の命により御前に進み出で、御説明申し上げたり。

生徒の中には玉の御聲をさへ聴きたる者ありと謂へり。成績陳列品の物理實驗に關するもの下の如し。

1. X線にて撮りたる寫眞(紙及び硝子)
2. ラヂウムの放射線にて同上。
3. クラドニー氏砂圖。
4. 振子運動の合成圖。
5. 音叉の振動圖(紙及び硝子)

6. 一年生の手工製作品　パーニア、重心の位置を示す鳥情性試験器等。

### 同上植物實驗 (矢部教授)

物理實驗室より次に玉歩を植物實驗室に進ませられたり植物實驗室は習字教室を臨時に用ひたるものなれば水道も瓦斯も何も設備なき室にて理科三年動植物選修生の顯微鏡實驗なりき、材料は車軸藻にして教官の机上には水槽中に生せる材料と其授業上に使用する幻燈種板と顯微鏡下に装置せるものを置き生徒は各自平常の如く實驗し居れり、此等の材料及種板などに就ては皇后宮主事より御説明申上げられしに顯微鏡の擴大力等に就て御下問あり更に生徒の机前に成せられ御眼鏡を御手に取出させられ暫時生徒の實驗の模様及び其作成し居る圖などを詳細に御覽遊ばされたり。

尙當日成績品陳列室には、顯花植物實驗見取圖、各種紙の纖維顯微鏡實驗見取圖、昆布類植物の組織見取圖、及植物組織の幻燈種板製作に關する順序及其成績等を陳列し、又奉獻品としては高山植物腊葉及幻燈種板にして就中幻燈種板には石炭の組織などの如き珍しきものもありしと云ふ。

### 會費領收報告 (自大正五年七月二十六日 至同年十月三十日)

金 六 拾 錢 (大正五年分)

田 中 や す    竹 田 イ シ    宮 原 け い    金 山 ナ イ  
萩 原 せ ん    安 井 ト ク    増 田 敏



金 六 拾 錢 (大正六年分)

南 德 代

金壹圓貳拾錢 (大正四・五年分)

須 藤 カヨ 岡 田 はるゑ

金壹圓貳拾錢 (大正五・六年分)

稻 木 ヒサ

金 五 圓 (大正十二年迄) 殘金貳拾錢

本 多 香 連

金壹圓八拾錢 (大正五・六・七年分)

鎌 田 みより

金壹圓貳拾錢 (大正六・七年分)

木 村 茂 枝

大正五年十二月十八日印刷

大正五年十二月廿一日發行

(非 賣 品)

東京女子高等師範學校

學 術 談 話 會

理 科 部

東京女子高等師範學校内

編 輯 兼 人 平 島 權 藏

東京市京橋區新富町一丁目六番地

印 刷 人 江 澤 三 郎

東京市京橋區新富町一丁目六番地

印 刷 所 明 正 印 刷 株 式 會 社

電 話 京 橋 (二五〇九) 番